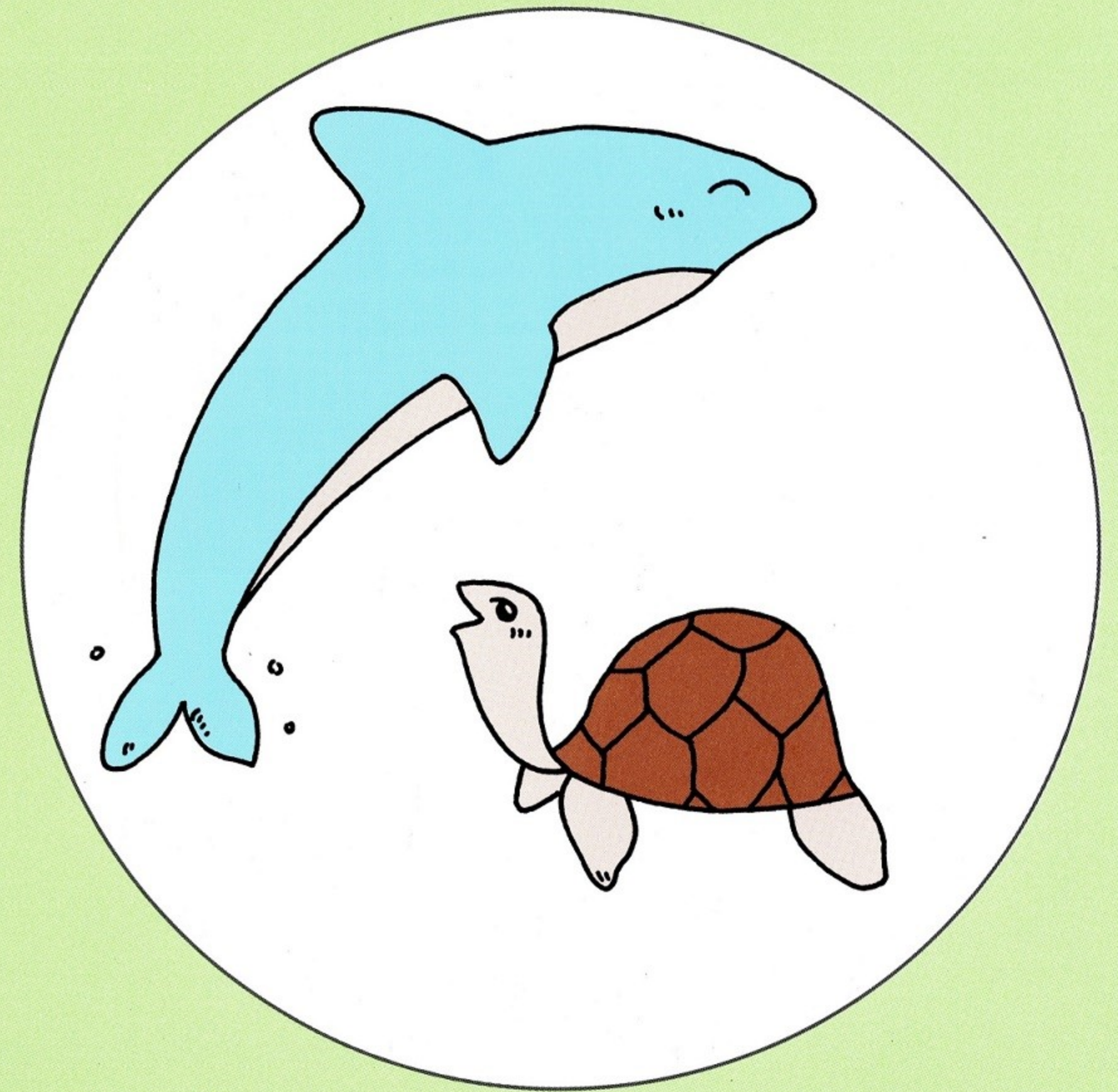


幼児のための知能開発ワーク

すくすくどんどん

14



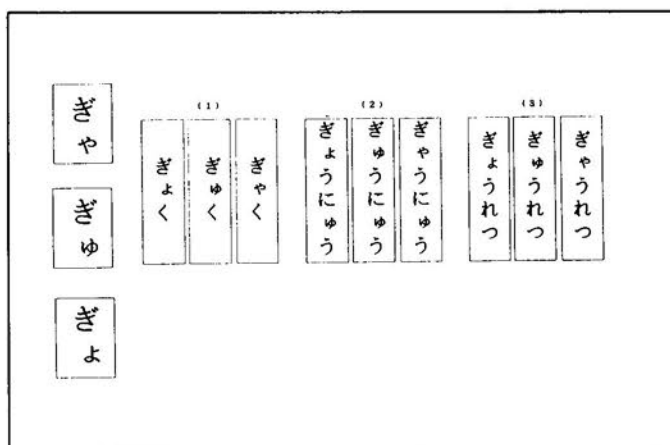
< 目次 > Aシリーズ14号

分野	学習項目	ページ	学習内容
A. 言語	拗音(ぎゃぎゅぎょ)	1	◎拗音の読み
	(じゃじゅじょ)	2	促音、長音の読み
	ひらがな(え段)①	3	◎50音表の構成・ひらがなのなぞり書き
	②	4	
	カタカナ(マ行)	5	◎カタカナ(「ア」～「ン」)の読み
	(ヤ行)	6	
	お話作り	7	与えられた絵を使って、お話を作る
	歌	8	「月」
B. 図形	書く(模写)①	9	足りないところをかいて、お手本と同じ絵にする
	②	10	形を同じ位置に書き入れて、お手本と同じにする
	回転図形①	11	回転した図形をかく
	②	12	観覧車
	③	13	2枚重ねた図形の1枚をまわすとどうなるか
	重ね図形①	14	かげの重なっているもの
	②	15	2つの図形を重ねる(透明でない色板)
	③	16	2つの図形を重ねる(透明な色板)
C. 数・量	同数発見	17	ドッツの数を数字であらわす、数字のなぞりがき(1-20)
	数の多少①	18	3種類のもの数を数えて、どちらが多いか(20まで)
	②	19	ものの数の多少を、すばやく判断する
	たし算①	20	答えが10までの数のたし算を具体物やドッツの絵で考える
	②	21	(答えの絵なし)
	③	22	
	ひき算①	23	答えが10までの数のひき算を具体物やドッツの絵で考える
	②	24	(答えの絵なし)
	数の分割①	25	◎具体物の絵を見て、それを2人で分けるといくつずつになる
	②	26	かを考える
D. 記憶	③	27	3人で分けるといくつずつになるかを考える
	お話の記憶①	28	◎ポイントとなることを理解して、
	②	29	全体を正確に記憶する
	位置・図形の記憶(記憶)	30	
E. 常識	(解答)	31	
	天気	32	正しい方を選ぶ(風向き、かげ)
	仲間集め・季節	33	違う季節のものをさがす
	動物の分類ほか	34	動物の食べ物
	音・楽器	35	たたいて音をだす楽器
	生活用具の用途①	36	同じ関係になるようにえらぶ
	②	37	おかしい箇所をさがす
	道徳	38	絵の中で悪い子を見つける
F. その他	系列完成	39	数字の並び(1-20、20-1)
	変化	40	マジックボックス(形を半分にする)

1

言語／拗音（ぎゃぎゅぎょ）

A14



【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。「ぎゃ」「ぎゅ」「ぎょ」）
これから言うことをよく聞いて、それにあうことばに、紫の○をつけて下さい。

1. 「ぎゃく」（例文：あなたのくつは、左と右が逆ですよ。）
2. 「ぎゅうにゅう」（例文：私は、牛乳が大好きです。）
3. 「ぎょうれつ」（例文：お祭で、おさむらいさんの行列をみました。）

【解答】

1. 右はし
2. まんち
3. 左はし

【指導のポイント】

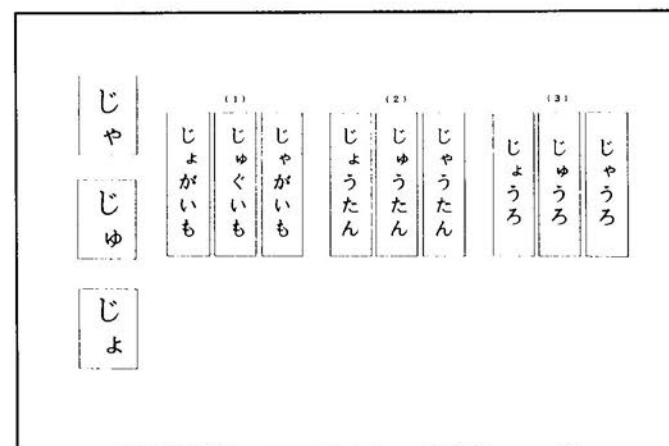
正解以外のものも含めて、ことばを1つずつ指で示しながら、読んであげて下さい。子どもは、変な音をととても喜ぶものです。子どものことばへの興味をとらえて、「ぎゃ」と「ぎゅ」と「ぎょ」の違いを理解させるとよいでしょう。

また、拗音の表記で、「ぎゃ」の「ゃ」は、「ぎ」の右下（縦書きの場合）に小さく書くことを教えてあげて下さい。

2

言語／拗音（じゃじゅじょ）

A14



【問題】

（左はしのひらがなを読んで、復唱させて下さい。「じゃ」「じゅ」「じょ」）
これから言うことをよく聞いて、それにあうことばに、紫の○をつけて下さい。

1. 「じゃがいも」
2. 「じゅうたん」
3. 「じょうろ」

【解答】

1. 右はし
2. まんち
3. 左はし

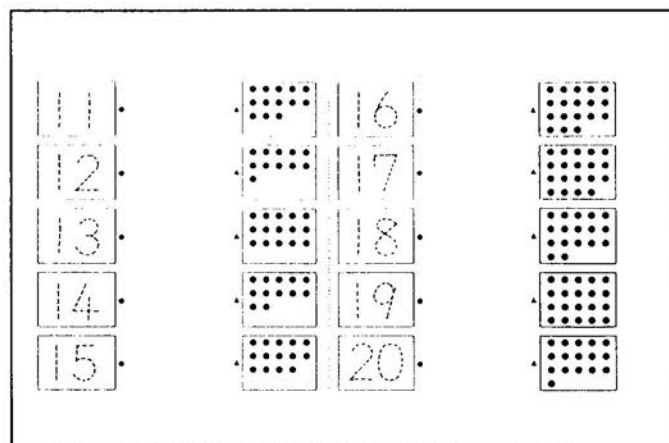
【指導のポイント】

正解以外のものも含めて、ことばを1つずつ指で示しながら、読んであげて下さい。子どもは、変な音をととても喜ぶものです。子どものことばへの興味をとらえて、「じゃ」と「じゅ」と「じょ」の違いを理解させるとよいでしょう。

また、拗音の表記で、「じゃ」の「ゃ」は、「じ」の右下（縦書きの場合）に小さく書くことを教えてあげて下さい。

17 数・量／同数発見

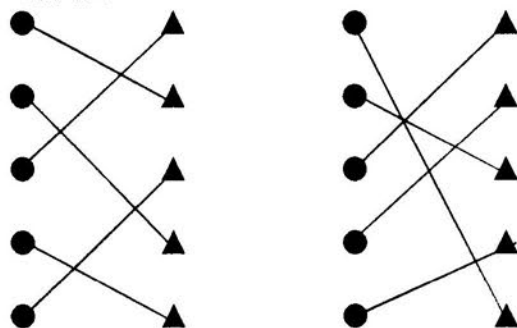
A14



【問題】

1. 左側の数字をなぞってかきましょう。(11～15、16～20)
2. 右側のドット(●)の数を数えて、その数の数字と線で結んで下さい。
赤の色で、●と▲を結びましょう。

【解答】

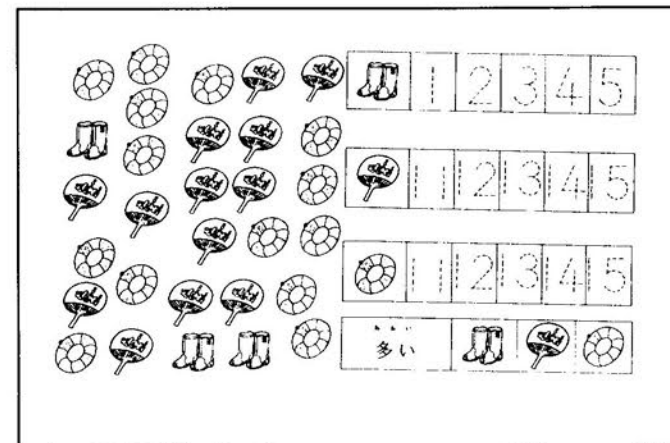


【指導のポイント】

ドッツカードなどを使って、数字とその数字があらわす「数」の概念とを、しっかり結びつけて定着させましょう。

18 数・量／数の多少①

A14



【問題】

ながぐつと、うちわと、浮き輪の数を比べましょう。

1. 青の○をつけながら、ながぐつの数を数えて下さい。数えたら、青でその数(数字)をなぞって書きましょう。
2. 赤の○をつけながら、うちわの数を数えて下さい。数えたら、赤でその数(数字)をなぞって書きましょう。
3. 黄色の○をつけながら、浮き輪の数を数えて下さい。数えたら、黄色でその数(数字)をなぞって書きましょう。
4. ながぐつと、うちわと、浮き輪で、一番数の多いものに、緑の○をつけて下さい。

【解答】

1. 3
2. 1 3
3. 1 4
4. 浮き輪

【指導のポイント】

同じものをさがして、しっかり数を数えさせましょう。数え忘れないように、左上から順番に、しるしをつけながら数える練習をさせて下さい。

ぎゃ

ぎゅ

ぎょ

(1)

ぎょく

ぎゅく

ぎゃく

(2)

ぎょうにゅう

ぎゅうにゅう

ぎゃうにゅう

(3)

ぎょうれつ

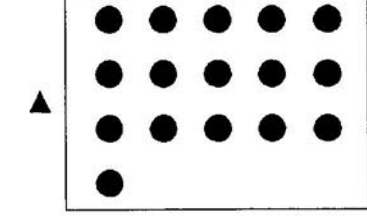
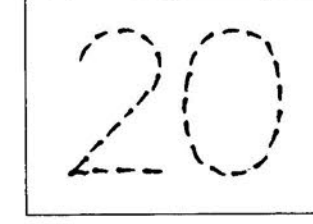
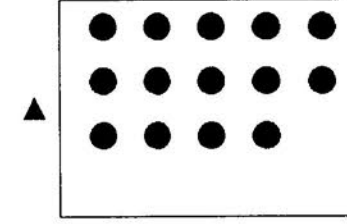
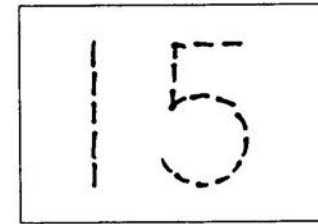
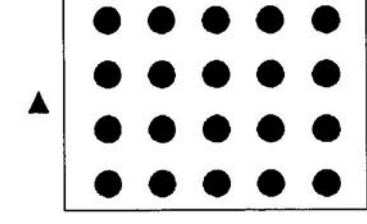
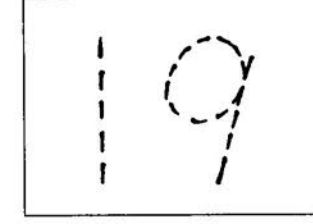
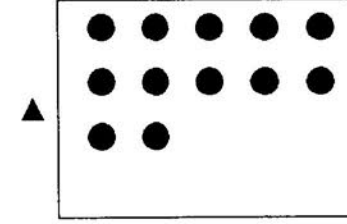
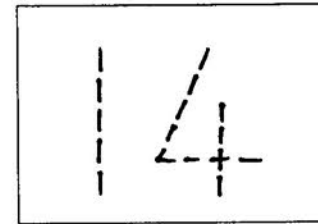
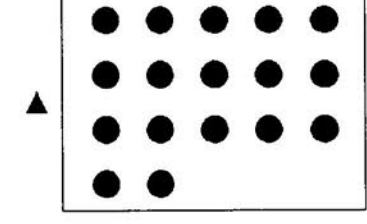
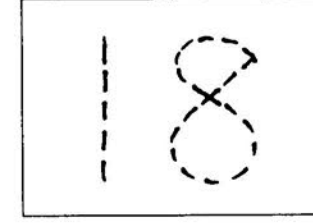
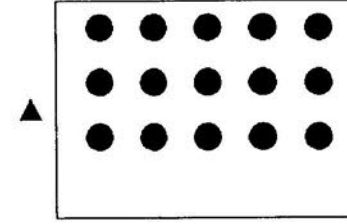
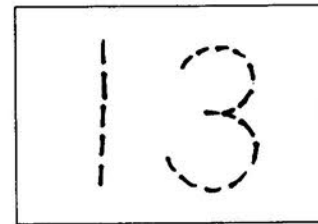
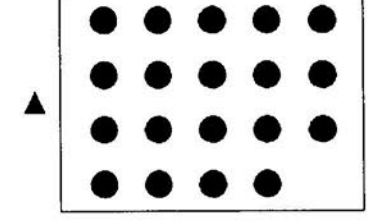
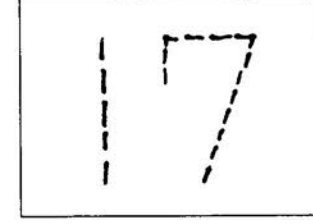
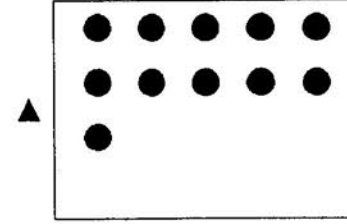
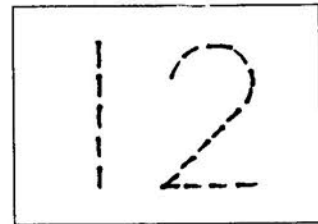
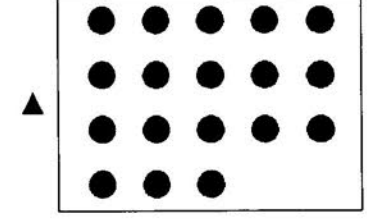
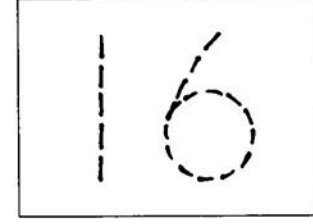
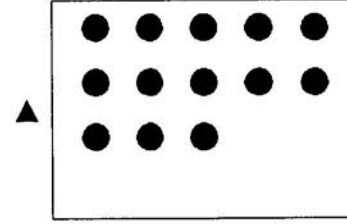
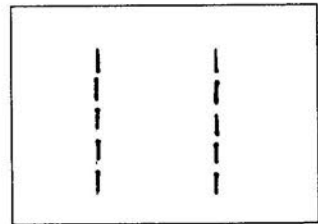
ぎゅうれつ

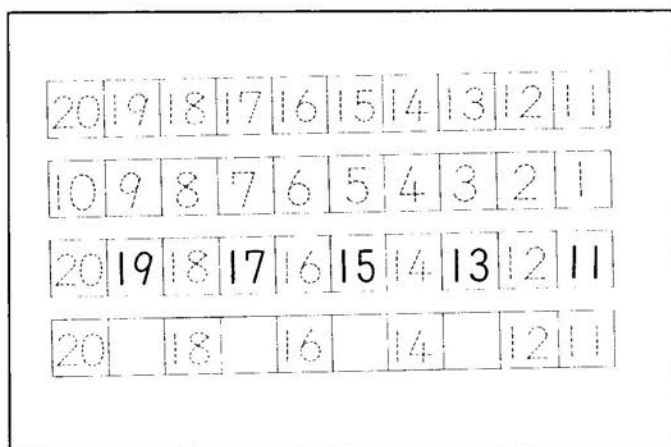
ぎゃうれつ

同数発見

月 日 なまえ

A-14-17





【問題】

(上の2段)

20から1まで、数字をなぞって書きましょう。

(書けたら、20から1まで、逆に数えてみましょう。)

この中で、12より小さい数字に黄色の○をつけて下さい。

(3段目)

ぬけているところの数字を、なぞって書きましょう。

(4段目)

数字を、なぞって書きましょう。

あいているところには、どんな数字が入るでしょうか。数字を書いて下さい。

(言って下さい。)

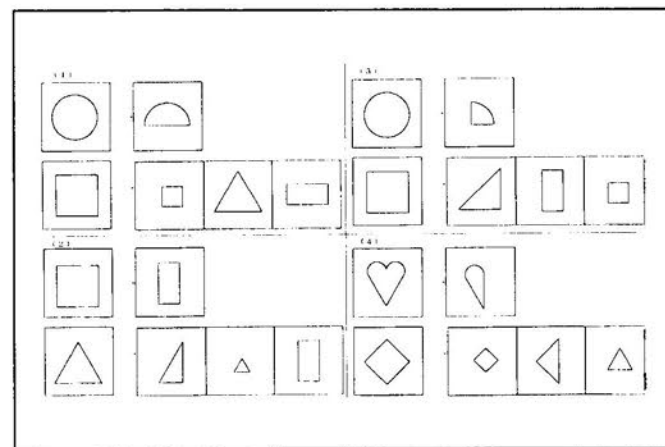
【解答】

(省略)

【指導のポイント】

数字の並びをしっかりと理解させましょう。逆唱は、ひき算の基礎にもなります。ドッツカードなどでも練習して、20から1まできっちり唱えられるようにさせて下さい。

「○より小さい数」というときは、「○」は含まれないことも説明してあげて下さい。



【問題】

上の段の左の絵が、右のように変わります。

下の段の絵はどうなるでしょうか。右から選んで、茶色の○をつけて下さい。

【解答】

(1) 右はし

(3) 右はし

(2) 左はし

(4) まんち

【指導のポイント】

変化のルールを見つけることが大切です。今回は、形の変化です。どのように形が変化しているかを、考えさせましょう。

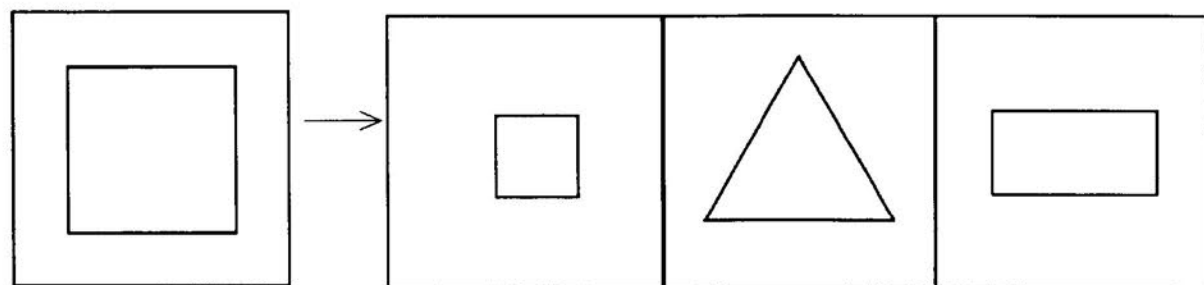
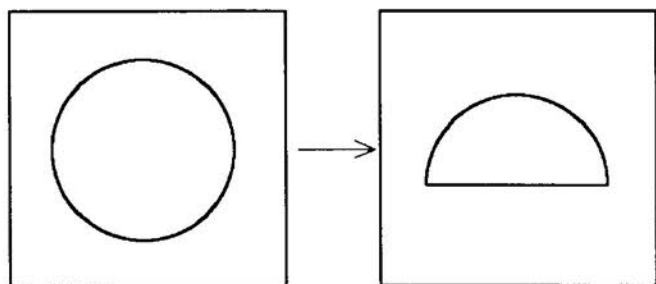
この問題では、(1)(2)(4)が「形が半分になる」、(3)が「形が4分の1になる」変化です。この内容は、図形の分野ですすでに学習しています。このページでは、自分で変化のルールを見つけるという、より高度な判断を必要とする問題として、とりあげています。

変化

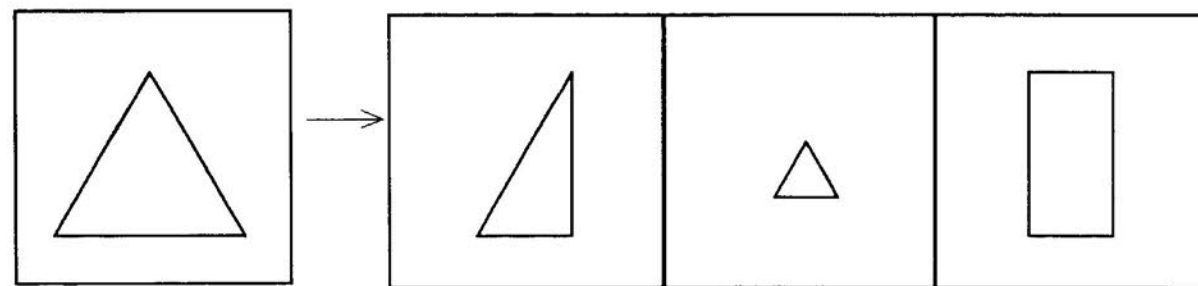
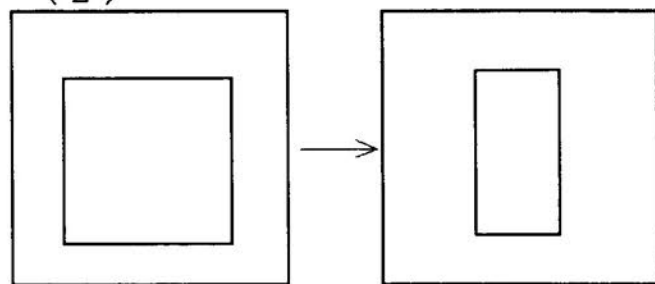
月 日 なまえ

1 4 - 4 0

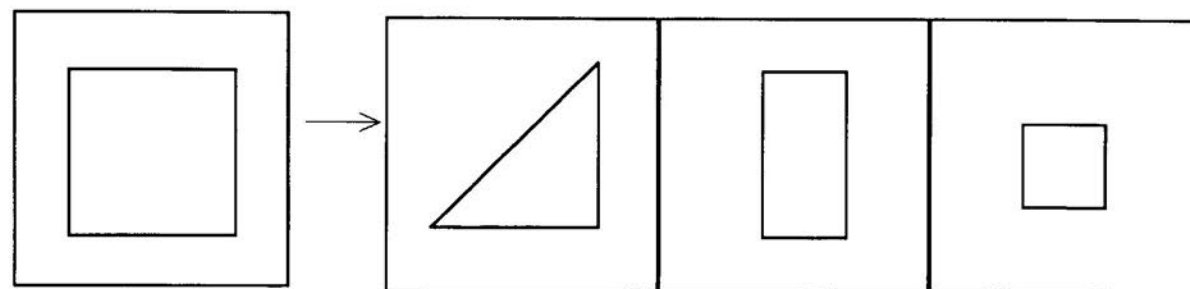
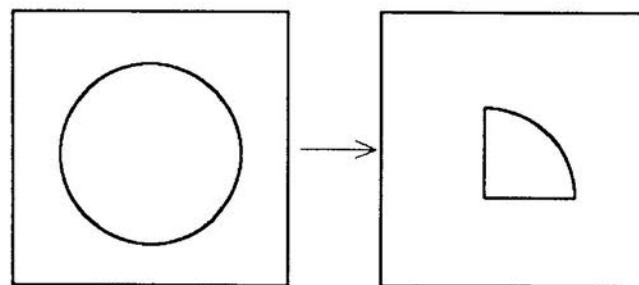
(1)



(2)



(3)



(4)

